

夢いっぱい 海無限大



愛媛県立宇和島水産高等学校

〒798-0068 愛媛県宇和島市明倫町 1丁目 2番20 号
TEL (0895)22-6575 FAX (0895)25-0791
URL <https://uwajimasuisan-h.esnet.ed.jp/>
海洋技術科ブログ <https://ameblo.jp/gijutsuka2019/>



校訓

和 敬・克己・勤 勉

栈橋のある学校です！



教育方針

本校は人格の完成を目指し、平和的な国家及び社会の形成者としての普遍的な資質を養うとともに、我が国の水産業界・海洋関連業界を進歩発展させるために必要な専門的な知識と技術を習得させ、職業人として国家社会に貢献する有為な技術者を育成する。

身に付けたい力

- 創造力** 自分の知識・技術で、新しいものをつくり出す力
- 行動力** 自分の意志・判断で行動する力
- 課題発見力** 様々な課題等を発見し、解決する力
- 適応力** 個性を尊重し、臨機応変に物事に対応する力
- 継続力** 困難に直面しても、最後までやり抜く力
- 信頼力** ルール等を守り、社会に信頼される力

本校は令和6年には創立80周年を迎える愛媛県唯一の水産科の高校です。
 学科構成は水産食品科、水産増殖科、海洋技術科の3科。
 また、卒業後さらに学びたい、資格を身に付けたいという生徒のために、
 水産増殖科、海洋技術科に2年の専攻科課程が設置されています。

学科構成

1年



2・3年

海洋漁業
コース

海洋工学
コース

もっと学びたい
と思ったら…

専攻科
1・2年

漁業科

機関科

水産増殖科

宇和島水産高校はSDGsの17の目標のうち、特に、「2 飢餓をゼロに」、「4 質の高い教育をみんなに」、「12 つくる責任 つかう責任」、「14 海の豊かさを守ろう」に力を入れて取り組んでいます。



2 飢餓を
ゼロに



4 質の高い教育を
みんなに



12 つくる責任
つかう責任



14 海の豊かさ
を守ろう



海洋技術科

目指せ、航海士！機関士！

船舶の運航、機関の運転などを学び、実習船「えひめ丸」で沿岸航海実習や長期乗船実習を行います。

2年次から海洋漁業コース（航海系）と海洋工学コース（機関系）に分かれます。

令和5年4月、国土交通省から「四級海技士養成施設」に登録され、卒業すると四級海技士筆記試験が免除になりました！

海洋技術科は、海技免許講習や乗船履歴短縮、当直部員資格認定など、まさに船員になるための学科です。全国の高校でも数少ない第一級海上特殊無線技士講習や、海技士筆記試験合格に向けた日々の補習も行っています。



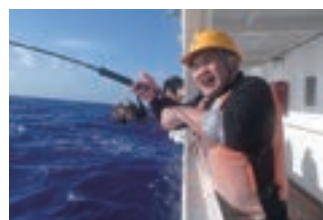
実習船えひめ丸で航海実習を行います！



生きたマグロ見たことある？



カップ姿もかっこいい！



釣り好きには最高です！



船の周囲を見張ってます



船のご飯は最高です！



主機が動くと迫力満点！



ロープの加工術を教わります



機械工作実習



宇和海でのジギング実習



就職懇談会も行っています

船員への道
2023

愛媛県立宇和島高等学校
海洋技術科
漁業科・漁業科・機関科

ブログや
YouTubeも
やってます

海技士の資格を取得できる

専攻科 漁業科・機関科

海洋技術科を卒業後、大型船舶の航海士や機関士になるために海技士資格を取得する2年課程の学科です。

商船高専や大学と同じ資格（三級海技士）が取得でき、即戦力を育てます。海運業界からの期待も大です！

- 三級海技士に必要な免許講習修了→三級海技士取得
- 電子海図情報表示装置『ECDIS講習』
- 救命艇手資格認定
- 船舶衛生管理者資格認定書

目指せ！ 航海士、機関士!!



水産食品科

地域産業のスペシャリストを目指そう

水産食品科は、食品の製造、安全性、流通に関する知識や技能について学び、水産・食品関連産業への人材を輩出しています。

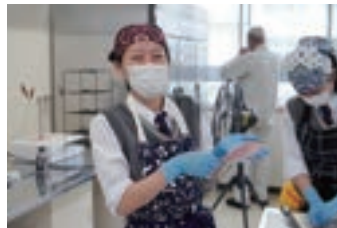
さまざまな企業や学校、行政と連携した製品開発、食育活動などを通して地域の人と関わる機会が多く、地域を愛する気持ちや人間性の育成にも力を入れています。その結果、水産食品科では企業からの求人が増加しています。世界中で活躍するフィッシュガールになれるのも水産食品科です。



タチウオをさばきます



じゃこ天を作りました



イワシの開きを作りました



トコロテンを作っています



松山の食品工場に見学実習に行きました



CoCo壱番屋で販売促進活動をしました



農産加工(うどん)も経験します



開発した食品を製造しているところです



首相官邸を訪問しました



白衣を着て実験も行います



水産食品科
YouTube チャンネル



卒業生の声



令和元年度卒業生

田中 小晴

東洋大学国際観光学部

水産食品科を卒業後、東洋大学国際観光学部へ進学しました。高校生の時は、

水産関係だけでなく、たくさんまちづくりに関する活動に参加させていただきました。そこで私は、宇和島市を活性化させたいと思うようになり、観光を学ぶことができる東洋大学に進学しました。水産食品科では、他の学校や学科では得られない知識や経験、そして自分の夢が見つかります。皆さんもぜひ、新しい夢を水産食品科で見つけてみてください。



令和2年度卒業生

田中 優

㈱フジ・リテイリング

私は現在、㈱フジ・リテイリングの鮮魚部門で働いています。コロナ禍で就職活動が困難な中で「地元で働いて地元

のために何かをしたい」という思いがあり、地域に根付いた企業である現在の会社への入社を決めました。

在学中にはフィッシュガールとして国内外での活動や地域の方々と協力して行う新しい商品の開発、販売活動など、幅広い活動に取り組みました。活動中は何度もくじけそうになりましたが、やらなければよかったと後悔したことは正直一つもありません。水産食品科は特に人との関わりが多い科なので、社会人になってからもその経験はとても役に立っています。

主な進路先

進学

東洋大学 国際観光学部
東海大学 海洋学部

就職

流通系
イオン、フジ、マルナカ、
ドン・キホーテ、ハローズ、
魚組、宇和島プロジェクト

製造系

日本食研、キョクヨーフーズ、
河内屋蒲鉾、島原本舗、
田中蒲鉾、井上蒲鉾、安岡蒲鉾、
山崎製パン、ちぬや、
オカベ

飲食・接客系

かどや、大起水産、ジョイフル、
千房、クレメントホテル、
ホテルニューオウミ

水産増殖科



海と生物の不思議を学ぼう

水産増殖科動画

水産増殖科では、資源増殖や海洋生物、魚類・真珠の養殖、海洋環境などの学習を行います。

人や自然との関わりを通して「生命・自然・もの」を大切に作る心と人権意識を高め、自他に対する思いやりの心を持ち共に喜び合える生徒を育てます。



真珠養殖について
学べるのは、
日本で本校のみ
です。



マダイの種苗生産実習



実習筏での網交換と
マダイの淡水浴実習(校外実習)



真珠の挿核
いい真珠が出来ますように!



マダイの出荷実習



干潟調査実習では
生物多様性を学びます



真珠の挿核実習も
行います(細胞切り実習)



自分たちが挿核した
真珠を取り出します



親魚水槽の中から
こんにちは!



水高タビエプロジェクトとして
ウチウエビ類の種苗生産を目指します!



愛媛県立とべ動物園長による
出張講義



アコヤガイの抑制
(挿核前の大切な管理です)

主な進路先

就職

■県内

(株)ダイニチ、大王製紙(株)、
双葉産業(株)、BEMAC(株)、愛
媛県漁協(宇和島支所、下
灘支所)

■県外

(有)大島水産種苗、白地水産(株)

進学

■大学

愛媛大学、福井県立大学、日
本大学、北里大学、福山大学

■専攻科

水産増殖科

卒業生の声



(左) 令和3年度卒業生 戸田 梨桜
人間環境大学総合心理学部

私は卒業後、人間環境大学総合心理学部に進学しました。現在は「こころとは何か」についてや「人体の構造、機能、疾病」、公認心理士への一歩になる科目を幅広く学んでいます。水産高校では日々の実習や授業を通して沢山の先生方や友人に支えられて、学ぶ姿勢や苦手なことへ立ち向かう気持ちなどこれから生きていく為に必要なことを学びました。壁を感じる瞬間も多々ありましたがその都度、先生方はお声がけをしてくださってサポートしてくださり、おかげで自分自身も成長することができ、とても充実した

学校生活を送ることが出来ました。大学生活でも水産高校での人との関わりが今の生活に役立っていると思います。そして親身になってくださった人達が私にしてくれたように大学生活や職に就いた時も、人を大切に親身になれる人になりたいと考えさせてくれる3年間で今の私があります。実習や授業を通して友人や先生との関係も深まり、海や環境の今について学べ、自分自身も成長、そんな中で今が豊かになれる。そんな水産高校はとっても最高の学校です。

(右) 令和3年度卒業生 西羅 龍斗 福山大学生命工学部海洋生物科学科

私は現在、福山大学海洋生物科学科で養殖技術や海洋問題等に関して水産高校で得た専門的な知識を活かし勉学に励んでいます。私が宇和島水産高校に入学した当初は、水産に関する知識は全く持っていませんでしたが、高校での3年間を通して、多くの水産生物の飼育や野外調査で得た行動力や仲間と共に協力する経験は確実に今の自分の力になりました。

そして、宇和島水産高校は職業高校として、とても実践的な学習ができる高校だと実感するとともに多くの実習を通して海や生物に触れることや、実習で船舶に乗る機会が多い高校は他にありません。そんな宇和島水産高校は広い海と共に、幅広く海洋について学ぶことのできる最高の場所です。



平成30年度卒業生
大津 有稀

愛媛大学農学部

私は専攻科修了後、愛媛大学へ3年次編入学して、現在は大学院修士課程で魚類養殖の効率化に関する研究を行っています。専攻科では、魚類養殖が盛んな地域である宇和島という環境ならではの、マダイの種苗生産や育種、漁場環境調査などの授業や実習、研究活動に取り組んできました。このような実習や研究活動を通して、私は専攻科で学んだことを基に、より高度な知識と技術を身に付けて、研究に挑戦したいと思い大学への進学を志しました。

専攻科での生活は楽しいことばかりではなく、大変なこともたくさんありました。しかし、どれも専攻科でしかできない経験で、大変だったことも含め、とても密度の濃い充実した2年間を過ごすことができ、専攻科で学ぶことができ、心から良かったと思っています。魚の飼育が好きで、水産増殖に関する勉強がしたい人は、とてもやりがいのある2年間を過ごすことができると思います。

もっと学びたいと思ったら 専攻科 水産増殖科

水産増殖の専攻科は全国で唯一です。
種苗生産、バイオテク（育種）、魚病診断、
漁場環境調査、生物相調査（生物多様性）などの
実習や科目「卒業研究」を通して実践力と科学的思考が身に付きます。

進路は、養殖や生物飼育に関する仕事、流通など水産関連産業です。
また、大学進学も可能です。



魚病診断



無菌室での細菌の培養



干潟での生物相調査

進路

■ 進学

愛媛大学 農学部 3年次編入
愛媛大学 社会共創学部

■ 就職

養殖関連産業
生物飼育に関する仕事
漁業協同組合



水質分析 溶存酸素量の測定



マダイ搬入

校内外施設



レーダー・操船シミュレーター



製品開発室



坂下津いかだ



新小型実習船 海華 (R4.3竣工)

資格

漢字検定や
英語検定はもちろん、
こんな
独自の資格
も取れます！

- 海技士
- 小型船舶操縦士
- 海上特殊無線技士
- 潜水士
- 危険物取扱者
- アーク溶接技能講習
- ガス溶接技能講習
- 小型移動式クレーン運転特別講習
- 車両系建設機械特別教育
(整地・運搬・積込・掘削用)
- 玉掛技能講習
- クレーン運転(5t未満)特別教育講習
- フォークリフト運転技能講習
- ボイラー技士
- ボイラー取扱技能講習
- 冷凍機械作業責任者
- 栽培漁業技術検定
- 食品技能検定
- HACCP基本技能検定
- 高等学校海洋情報技術検定

部活動

体育部

ボート部、硬式テニス部、カッター部、サッカー部、陸上競技部、柔道部、バドミントン部、卓球部

文化部

工芸部、ボランティア部、文芸部、海洋技術研究部、水産増殖研究部、水産食品研究部



カッター部



陸上競技部(2021年度インターハイ出場)



卓球部



サッカー部



水産食品研究部



バドミントン部



ボート部



水産増殖研究部



硬式テニス部



ボランティア部



柔道部

生徒会長

水産増殖科第3学年
豊島 煌太

みなさん、こんにちは。私たち水産高校生は座学、実習を通して水産業に関する専門的な知識や技術について学習しています。

本校は、水産増殖科、水産食品科、海洋技術科の3学科で構成されており、私が所属している水産増殖科では魚類の種苗生産実習を経験し、生命の尊さや生物飼育の難しさ等本校ではしか経験できない学習活動が多くあります。また、校内には棧橋があり小型実習船『海華』が係留されており仕事現場さながらの実習を体験することができます。

宇和島水産高校では様々な経験をすることができる素晴らしい学校です。この学び舎で私たちと一緒に水産業について学びませんか？入学をお待ちしております！！

碧水寮 のご案内

学校から徒歩 15 分
海の近くにあります。

寄宿舎費用

月 43,000円

〒798-0087
宇和島市坂下津甲 313-4



特色ある学校行事

4

入学式



5

開校記念式・講演会

入学式

6

生徒意見・体験発表会



海の奉仕活動

7

クラスマッチ

海の奉仕活動



えひめ丸出港

8

えひめ丸出港

校内スポーツ大会

クラスマッチ



校内スポーツ大会

9



校内生徒研究発表会

10

校内生徒研究発表会

水高祭



校内スポーツ大会

11

修学旅行

クラスマッチ



修学旅行

12

えひめ丸事故追想の日式典

卒業式



水高祭

1

2

3

A



水高祭



えひめ丸事故追想の日